

令和3年度

しんじゅく若者 Web 会議

実施結果報告書



目次

I 会議の概要.....	1
1 会議の目的.....	1
2 会議の概要.....	1
3 募集.....	1
4 参加者の属性.....	1
II 当日のスケジュール.....	2
III 会議の進め方.....	2
IV 区からのテーマ説明・職員の解決案の紹介.....	3
V 班討議.....	4
VI 発表.....	5
A班.....	5
B班.....	8
C班.....	11
VII 参加者アンケート結果.....	15

I 会議の概要

1 会議の目的

この会議は、日頃、区政と関わりの少ない若者世代の意見やアイデアを施策に反映させるためのきっかけづくり、場づくりを目指すものである。若者の対象年齢は、18～39歳とした。

2 会議の概要

(1) テーマ

新宿の情報発信2021 ～若い世代に届けたい～

(2) 概要

日 時: 令和3年11月13日(土)13:30～17:30

実施方法: オンライン会議

参加者数: 16名

3 募集

公 募 ホームページやチラシ(町会掲示板等に掲示)等の案内を見て応募した者

4 参加者の属性

(1) 年齢層別

18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	計
2	5	4	3	2	16

(2) 職業別

会社員・ 公務員	パート・ アルバイト	自営業	経営者・ 会社役員	専業主 婦・主夫	学生	計
10	0	1	1	0	4	16

Ⅱ 当日のスケジュール

時刻	時間 (分)	内容
13:30～13:45	15	開会、ガイダンス
13:45～14:05	20	テーマ説明・職員の解決案の紹介、質疑応答
14:05～14:20	15	自己紹介
14:20～14:30	10	休憩
14:30～15:50	80	班討議
15:50～16:00	10	休憩
16:00～17:15	75	各班発表
17:15～17:30	15	閉会、事務連絡

Ⅲ 会議の進め方

参加者の班分け

16名の参加者を「A」「B」「C」の1班5～6名の3班に分け、1班に2名の職員がサポートに付いた。

テーマ説明・職員の解決案の提案(20分)

討議に入る前に、参加者が意見交換を活発に行えるよう、「区の情報発信」に関する区の手組みや課題について説明した。また、区が抱える課題について事前に区職員から募った解決案について紹介した。

自己紹介(15分)

アイスブレイクを兼ねて、「今、はまっていること」の紹介を交えた自己紹介を参加者全員で行った。

班討議(80分)

討議に入る前に「司会」「タイムキーパー」「書記」「発表者」を決めた。司会者を中心に班の中でテーマに対する解決方法等について自由に意見交換を行った。その後、班ごとに提案する解決案として3つの提案を発表用ワークシートにまとめた。

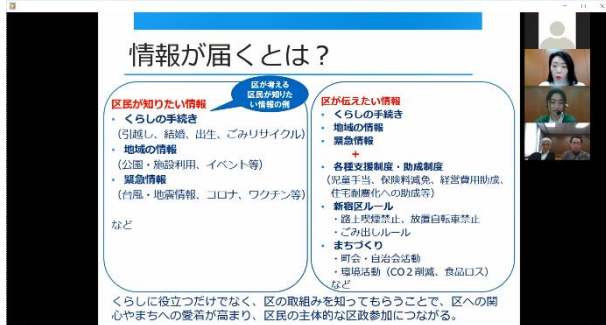
各班発表・区長からコメント(75分)

「発表者」が各班の提案について発表を行い、各班の発表ごとに区長がコメントした。また、「発表者」以外の班員についてもテーマについての自身の考えや参加した感想等について発言し、区長がコメントした。

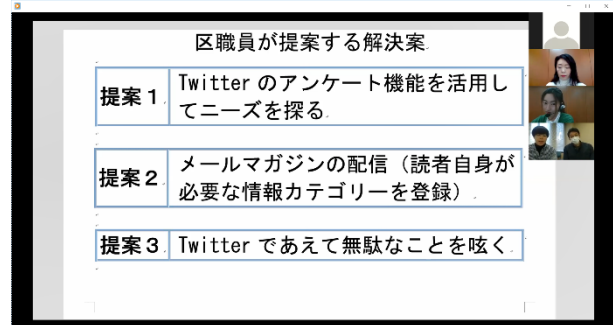
IV 区からのテーマ説明・職員の解決案の紹介

テーマである「新宿の情報発信2021 ～若い世代に届けたい～」に係る区の取り組みや課題に関し、概要を区政情報課長がパワーポイントを使って説明した。また、事前に区職員から募った解決案について発表用ワークシートにまとめたものを区政情報課の職員が紹介した。

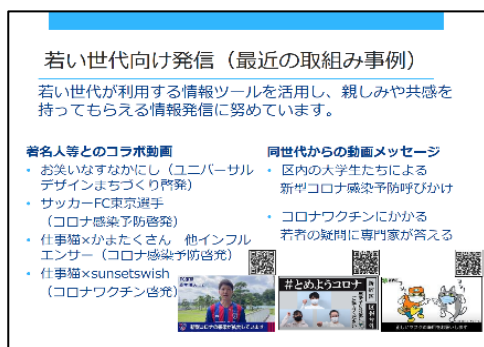
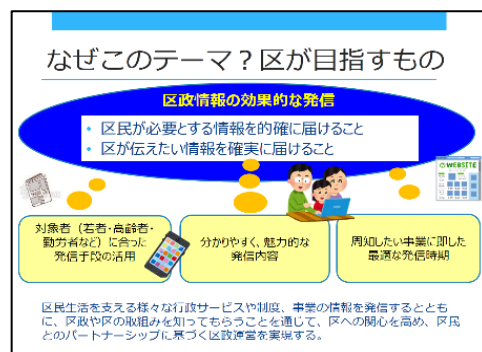
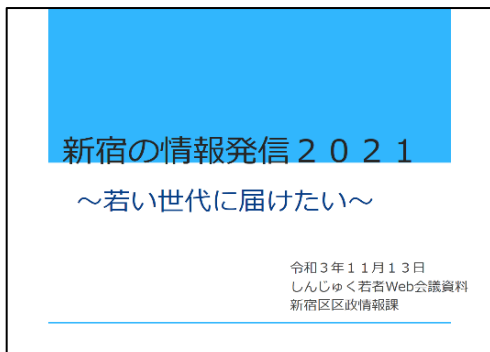
テーマ説明の様子



職員の解決案の紹介の様子



《参考:パワーポイント資料抜粋》

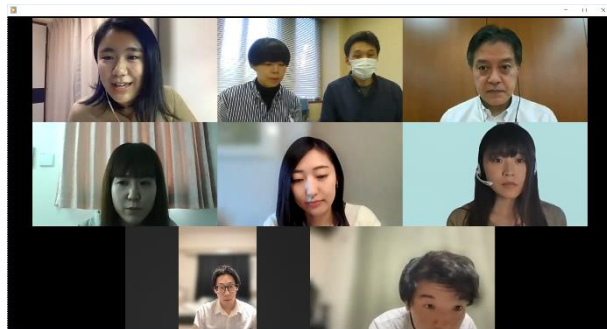
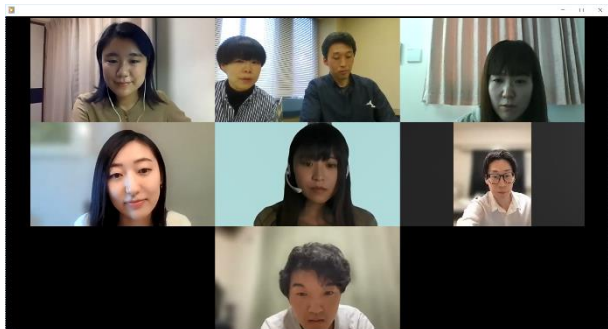


V 班討議

テーマである「新宿の情報発信2021 ～若い世代に届けたい～」に関して、解決方法等の各自の意見について自由に意見交換を行った。その後、班ごとに提案する解決案として3つの提案を発表用ワークシートにまとめた。

《班討議の様子》

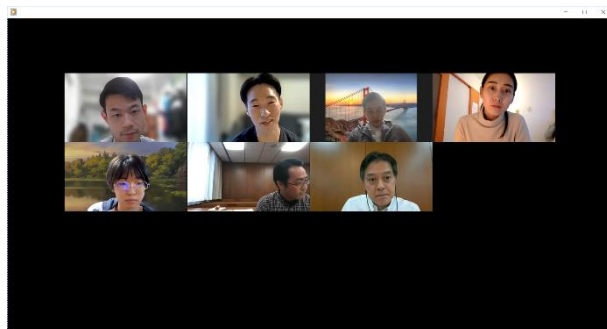
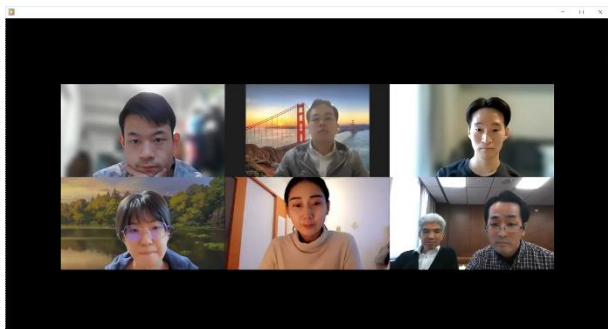
A班の様子



B班の様子



C班の様子



VI 発表

発表用ワークシートを使い、「新宿の情報発信2021 ～若い世代に届けたい～」について各班の提案を発表した。また、「発表者」以外の班員についてもテーマについての自身の考えや参加した感想等について発言し、区長がコメントした。

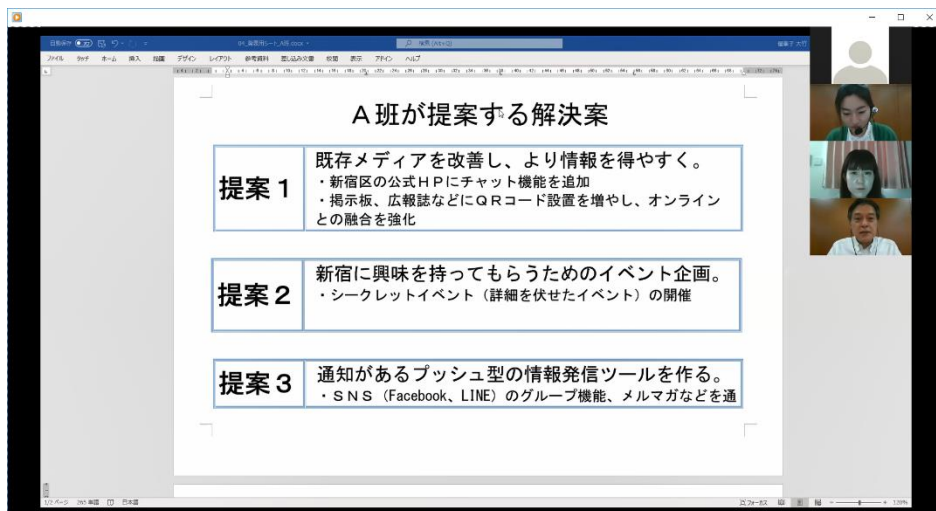
A班

提案 1	既存メディアを改善し、より情報を得やすく。 ・新宿区の公式HPにチャット機能を追加 ・掲示板、広報紙などにQRコード設置を増やし、オンラインとの融合を強化
提案 2	新宿に興味を持ってもらうためのイベント企画。 ・シークレットイベント(詳細を伏せたイベント)の開催
提案 3	通知があるプッシュ型の情報発信ツールを作る。 ・SNS(Facebook、LINE)のグループ機能、メルマガなどを通じた情報発信

【その他、意見交換で出た提案】

・まずはオフラインのイベント等で新宿区や区政に興味を持ってもらい(提案2)、そこでオンライン上での接点を確立(メルマガ登録など:提案3)しておくことで、今後の情報取得の円滑化を図る

発表の様子



■ 班発表の概要

・提案1について

区の公式ホームページについて文字が多かったり、どこのカテゴリーから入っていけばいいのかが分かりにくいので、ホームページの改善をするべきなのではないかという意見が出た。

改善策としては、ホームページにチャット機能を追加したりカテゴリーごとにQRコードをつくることでよ

り手軽に自分が知りたいところを知るような機会が増えると、既存のホームページもより見やすくなるのではないか。

・提案2について

区がどういったイベントをしているかや、どういった政策をとっているかといったところに関心を持ってもらうため、まず新宿区との接点をつくるべきなのではないかという意見が出た。

提案としては、区主催の「シークレットイベント」を企画する。あえて何のイベントなのかというところを強調せずに、詳細を伏せたイベントにすることでより多くの人に興味を持ってもらいやすいのではないかという意見が出た。また、企画の中でキャンペーンなどを開催し、SNSに登録するイベントや友達同士で参加できるような環境づくりも大切だという意見が出た。

・提案3について

プッシュ型の情報発信ツールやSNS、メルマガなどを使って情報発信をする。また、提案2で企画したイベントの中で自然に目に触れるであろう情報を掲示板等で提供する。情報発信ツールやSNS、メルマガなどの機能は、興味がある人しか登録をしないという課題があるが、提案2によって、より多くの方が区との接点を持つことで情報発信ツールに登録してみようという気持ちになれるような、提案2から3につなげるという意見が出た。

■区長からのコメント(概要)

既存のメディアを生かして、それをどう改善してより情報をお伝えしやすくなるか、あるいは触りやすくするかということについてご提案いただきました。公式ホームページにチャット機能を追加するというのは本当に大切な提案だと思います。

また、今後もテーマによっていろいろあると思いますが、皆様に迅速に必要な情報が届くようなQRコードとの融合を強化していきたいと思います。

それから、区に関心や興味を持っていただくイベントというのは大切だと思います。シークレットイベントというのは、興味深いので、研究させていただければと思います。

また、プッシュ型の情報発信ツールをつくるべきだということでご提案いただきました。これもやはりあらゆる情報が届くと、皆さんお困りでしょうし、若い人でもご家族に障害者とか高齢者の方がいたら、やはり介護の情報って欲しいなというときがあると思いますので、必要になったら、介護のところをポチッと押してもらって介護の情報も届くようにとか、そういうふうな情報発信ができればと思います。

本当にいろいろと皆様に考えていただいて、SNSの話、それから、ウェブページはもっと見やすくなるのかなということなどを討議のときに皆さんお話をされていました。そうしたことを今後もしっかり、より見やすく、古い情報はなるべく目隠しするような形で分かりやすく、最新の情報が一番上に出るようとか、そういうような工夫をしながらやっていきたいというふうに思います。本当にどうもありがとうございました。

■発表者以外の参加者の意見や感想(概要)

・若者に対して興味を持ってもらえるようなプラットフォームづくりというのが課題だと思った。インスタグラムやLINEの活用だったりということも追加意見として提案したい。

・本当にたくさんの背景を持った方々がいて、僕の意見はこうで、皆さんの意見はこうで、確かにそうだったなとか、その視線は抜けていたなというふうなものもたくさんあって、ぜひまた次があれば参加したいなというふうに思った。

・A班の中でこの若者Web会議をどうやって知ったかって聞いたときに、意外とオフラインのまちの掲示板とか、広報を見て参加した方が多いなと思ってびっくりした。これからオンラインのほうを強化して、若い人がもっと新宿区の活動について知る機会が増えるといいなと思う。

・内容が結構難しく、あまり発言はできなかったけれども、皆さんの意見を聞きながら、そういう意見もあるなとか思いながら、いろいろ参考になった。自分は区のサイトとか見たことはなかったが、これからちよくちよく見るようにしようかなと思う。

・本当に多様な立場の方とか多様な視点からの意見を伺って、その意見交換をすることができ、とても刺激的で面白かった。若者というといふSNSとかというふうに考えがちだが、皆さんの意見を聞きながら意外と紙面やまちの掲示板で情報収集していると聞き、私もいろいろ改めて考えることもあって、とても刺激的だった。こういう場がもっといろいろな意見交換とかができると面白いなというふうに思った。

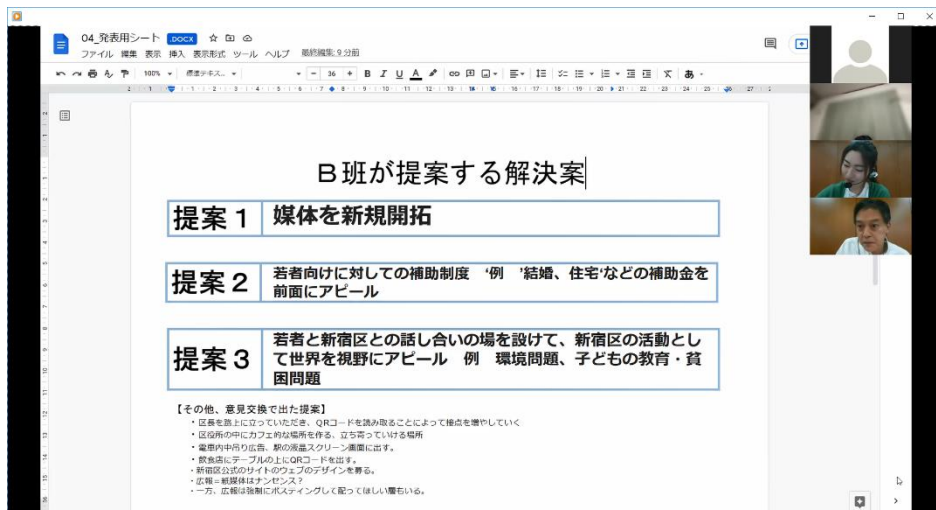
B班

提案 1	媒体を新規開拓
提案 2	若者向けに対しての補助制度 ‘例’ 結婚、住宅’などの補助金を前面にアピール
提案 3	若者と新宿区との話し合いの場を設けて、新宿区の活動として世界を視野にアピール 例 環境問題、子どもの教育・貧困問題

【その他、意見交換で出た提案】

- ・区長に路上に立っていただき、QRコードを読み取ることによって接点を増やしていく
- ・区役所の中にカフェ的な場所を作る、立ち寄っていける場所
- ・電車内中吊り広告(モニター)、駅の液晶スクリーン画面に出す。
- ・飲食店にテーブルの上にQRコードを出す。
- ・新宿区公式のサイトのウェブのデザインを募る。
- ・広報＝紙媒体はナンセンス？
- ・一方、広報は強制にポスティングして配ってほしい層もいる。

発表の様子



■ 班発表の概要

・提案1について

情報発信の媒体を新規開拓してはどうか。若者をターゲットにする場合は、LINEと特にインスタグラムは絶対に外せないというところと、また、YouTubeと最近はやっているVTuber を使って情報発信していくのがいいという話があった。娯楽の時間に区の情報を見て楽しんでもうらやうなものがあれば、自然な形で必要な情報を区民の方に届けていけるのではないかと。

ホームページについては、デザイン系の専門学校とかで勉強されている学生に、デザインの募集案

を出して、そこで出た意見を例えば採用していくとか、そういう形で学生と連携を組みながらウェブページとかも作成していけばいいのではないかという話も出た。

・提案2について

情報の内容だが、特に20代、30代の若い世代の方が興味があるような、若者に向けての結婚や住宅などの補助金等の情報を区のLINEみたいなアカウントをつかってそこで流していくような形にすれば、そういう情報をしっかりとキャッチできるようになっていくと思う。どういう情報を発信していくのかというところについても、若い世代にとって何が求められているのかというところも考えながら発信していくのが大事なのかなというふうに思う。

・提案3について

区民の方が区を身近に感じることができるように、例えば区役所とかにカフェなど、皆さんが立ち寄りやすい空間を設け、人々が実際に会おう場、話し合う場を提供することも非常に重要だと思う。区民の方に来ていただいて、自由にいろいろな提案とかをしていただくような場があれば、もっともっと区との距離感が縮まっていくのかなと思う。

その他の意見として実際にホームページとかを作成して発信しているとのことだが、どうしても届かない層というのも必ずあるので、そういう方たちに対してアナログを使って発信をしていくことが重要なのかなという話もあった。

■ 区長からのコメント(概要)

新しい媒体をということで、インスタグラムの話、LINEの話、VTuberの話が出ていました。インスタグラムのほうが、みんな継続して見ているよというようなご意見を私もいただきまして、ワクチンの情報なんかは、インスタグラムの自分のアカウントで区の情報をスクリーンショットにしたりとかしながらお知らせするような作戦をとりました。

それから、若者や生活の中でいろいろ困っている方々が、新宿のアカウントをフォローしているところといった情報が届くなどというのを、感じていただけるようにしていきたいと思います。

あと、カフェの話もいただきました。新宿の区役所って大分狭くなってしまっていて、面積がとてもないのですが、もし建て替えが将来的にできるようなことがあったら、できれば誰でも立ち寄れるようなカフェみたいなものをつくってみたら面白いなと思います。そこにいろいろな行政情報にQRコードを載せておいて、とりあえず持って帰っておいてもらって、もし情報が必要になったらそこからとってもらおうと、そんなようなことも可能かなと思います。

■ 発表者以外の参加者の意見や感想(概要)

・今回のしんじゅく若者Web会議で自分よりも上の年代の人といろいろな話をするのができたりとか、あとは自分自身、区政にそこまで興味がなかった側の人間だったので、改めていろいろな意識を持つきっかけとしてすごく楽しいイベントだった。

・こういう場に参加される方はすごく意識が高くて、いろいろ考えていることがあるのだなと思った。あとは、区長とか職員の方が一緒に議論に参加してくれて、そこで自分が持っていた疑問がサクッと解決

されたりとかしたので、そういう機会がただけでありがたかった。

・なかなかこういった自分の声を直接区に届けるという機会がないので、とても楽しくて有意義な時間を過ごせたと思う。これから新宿区のみならず、地球全体で考えなければいけない問題も含めて、新宿区が先陣を切っているいろとよりよい方向に変えていけることはまだまだたくさんあると思うので、これからもこういった機会があれば、また参加したい。

・参加メンバーは学生から社会人で、若者といっても本当にいろいろな世代があって、興味とか使う媒体とかも違うのだなという新しい発見もあって、だけれども、新宿をもっとよくしたいという思いは1つなのだなという、そこは同じなのだなというふうに思った。

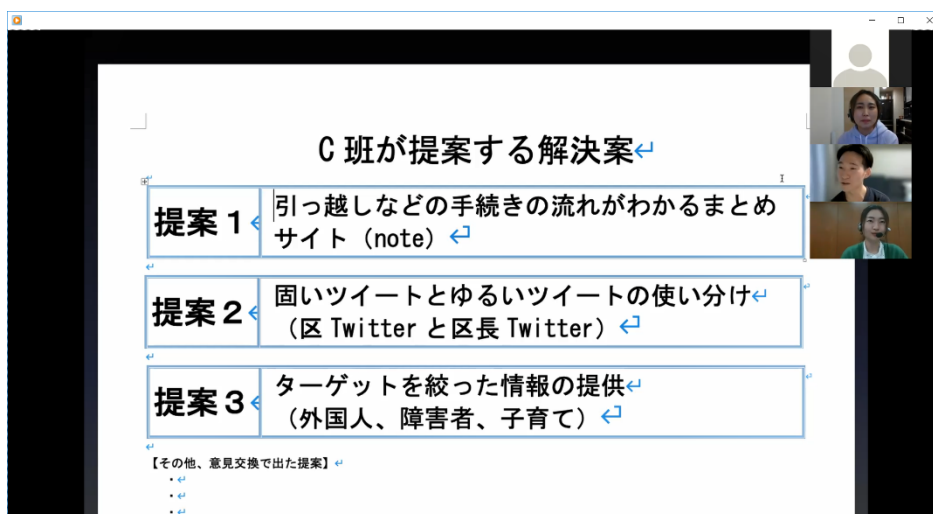
C班

提案 1	新宿区へ引っ越しするなどの手続きの流れがわかるまとめサイト(note)
提案 2	固いつweetとゆるいつweetの使い分け(区 Twitter と区長 Twitter)
提案 3	ターゲットを絞った情報の提供(外国人、障害者、子育て)

【その他、意見交換で出た提案】

- ・ホームページで謎解きのコーナーがあって、面白いと感じた。
- ・生活に密接に関わるもの、支援(相談サービス)など情報提供の内容の優先順位をつけるべき。
- ・区政の公式アカウントは固い雰囲気だけど、区長のものはゆるさがあった。コラボしていく！(使い分け)キャラクターとのコラボはいいと感じた。
- ・情報の案内板を作る。
- ・ホームページで出している縦割りの情報しかないので一つずつ探していく必要がある。
- ・まとめサイトのようなものがあれば便利。
- ・外国語のコンテンツ(優しい日本語のコンテンツはホームページにしかない)。
- ・ハッシュタグをつけるとよりメッセージが伝わりやすい。
- ・アナログな方が強みなのかもかもしれない。
- ・飲食店の従業員など、ピンポイントで届ける。

発表の様子



■班発表の概要

・提案1について

引っ越し等のいろいろな手続をしたときに、分かりやすいようなまとめサイトみたいなものがあればいいよねという話があった。いろいろな行政の手続があるが、それをただチェックリストとしてまとめられているものだけではなく、実際にそれを体験した人の声をまとめられているようなブログみたいなものを発信してもらって、定期的に更新していくというのがいいのではないか。例えば子育てのときにはこんなものがあるよと、新宿区に問い合わせるとこんなものがあるよとか、お年寄りはこのようがあるよとか、生活困窮者の方はこのようがあるよとか、そういうのがあるといいと思う。

・提案2について

行政のツイッター、フェイスブック等々に関しては、ホームページも含めかたい印象があるので、一方で緩いツイート、たとえば、新宿区のおいしいご飯屋さんの紹介ツイッターみたいなものをうまくリンクさせてもいいのではないか。本編のホームページとかも、何かかたいものだけではなくて、もう少し言葉づかいというのを柔らかくしてあげるとか、そういう配慮とかがあっても面白いのではないかという意見が出た。

・提案3について

情報をとりたくてもとり方が分からないとか、そういう人たちにストレートに刺さるような情報提供の仕方や情報の出し方というのを考えていかなければいけない。例えば外国人の方、特に国籍ごとにコミュニティってあると思うので、その人たちのためだけの情報を届けてあげたりとか、あとは障害者の方の、例えば障害者支援センターだったりとか、就職支援センターみたいなところに、実際に新宿区でこんなことをやっているからどうぞというのを障害者の方向けのものというので届けてあげたりとか、あとは子育て世代という、例えば公園だったり保育所だったり、そういったところを中心に、子育て世代に向けた補助金のお知らせだったりとか、そういったことを届けばいいのではないか。

■区長からのコメント(概要)

区に引っ越してきたとき、あるいは子どもが入学をする、あるいは家族が介護申請を出さなければいけない、そういったような情報を手続で、文章で書くとかすぐやはりかたいし、そんなものを読まされても読む気がしないというのは当然だと思いますので、もう少し分かりやすい表記や、できれば動画や音声なんかでできたらいいかもしれません。

あと、広報物なんかで、例えばエッセイや体験記を書いたらどうかという話も討議のときに出ていたと思うのですが、そういったような区民の方の実際の感想ですとか声とか、そういったものもご紹介できたら、何となく確かに自分もこうだったなという共感を得ることがもしかしたらできるかもしれないので、そういったようなことも取り入れることができたらなと思います。

それから、ツイートの中身がかたいものが多くて、とっつきにくいというご意見については、実際に区からの通知や広報はほとんど見ないというお話も実際に聞くことがあるので、今後情報発信、伝え方というのは、もう少しやわらかく、受け入れやすいように考えていきたいと思っています。

それからターゲットを絞った情報の提供でやはりプッシュ型の通知等、そうした技術を導入できるか考えてみることは大切だなというふうに思っています。

また、情報が必要なものだけでも、入手するすべが見つからなかったという方に対して、寄り添える

ような発信の仕方ができればというふうに思いました。

■発表者以外の参加者の意見や感想(概要)

- ・いろいろな意見とか考えを聞きたい機会になったなと思う側面もあるし、自分の思っていることに対して、区長や区の職員がフィードバックや情報とかを教えてくれて、とてもいい機会になったなと思う。
- ・自分が思っていたことを皆さんの前でお伝えすることができて、自分の思いが伝わったようでうれしい気持ちになった。
- ・今回大学生の方から私みたいな子育てしている世代まで幅広い若者といわれる世代で話させていただいて、ひとくりに若者というふうにくるのではなくて、それぞれの抱えているものだったりとか、そういうのに寄り添って情報発信していくのが大事なのだなというのを実感した。これからも個人的にはなるが、区政に貢献できるように頑張っていきたいというふうに思った。

《各班が作成したワークシート》

A班

A班が提案する解決案	
提案 1	既存メディアを改善し、より情報を得やすく。 ・新宿区の公式HPにチャット機能を追加 ・掲示板、広報誌などにQRコード設置を増やし、オンラインとの融合を強化
提案 2	新宿に興味を持ってもらうためのイベント企画。 ・シークレットイベント(詳細を伏せたイベント)の開催
提案 3	通知があるプッシュ型の情報発信ツールを作る。 ・SNS (Facebook、LINE) のグループ機能、メルマガなどを通じた情報発信

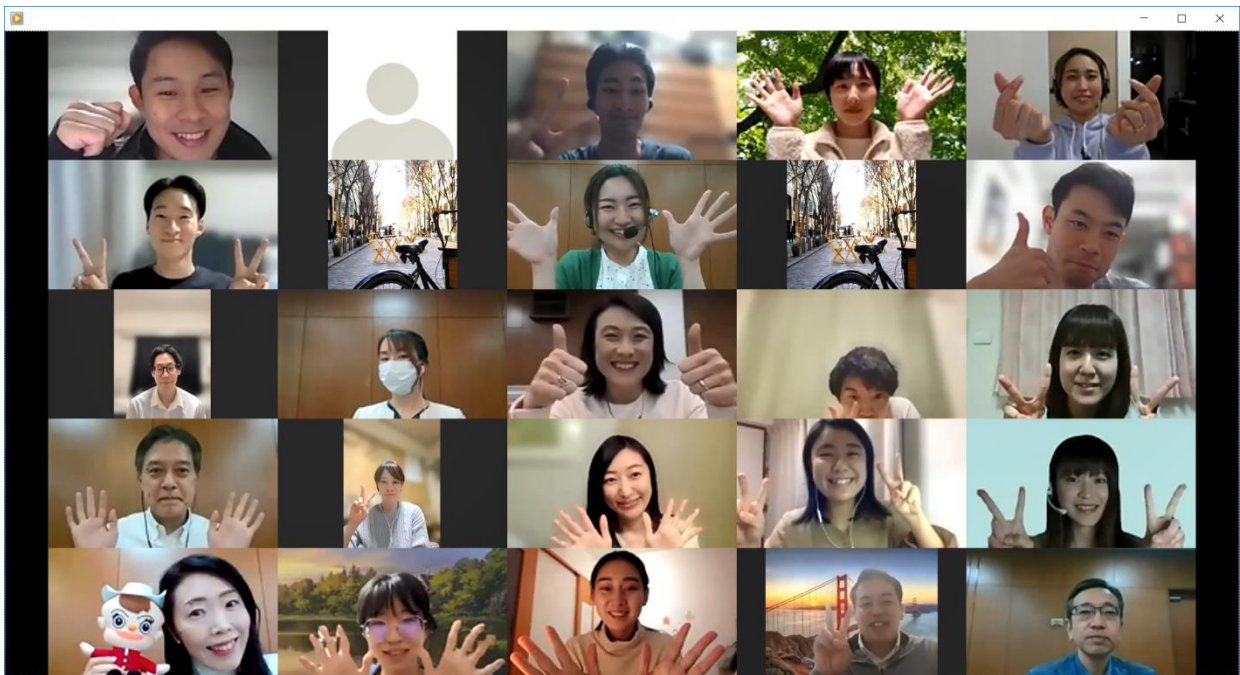
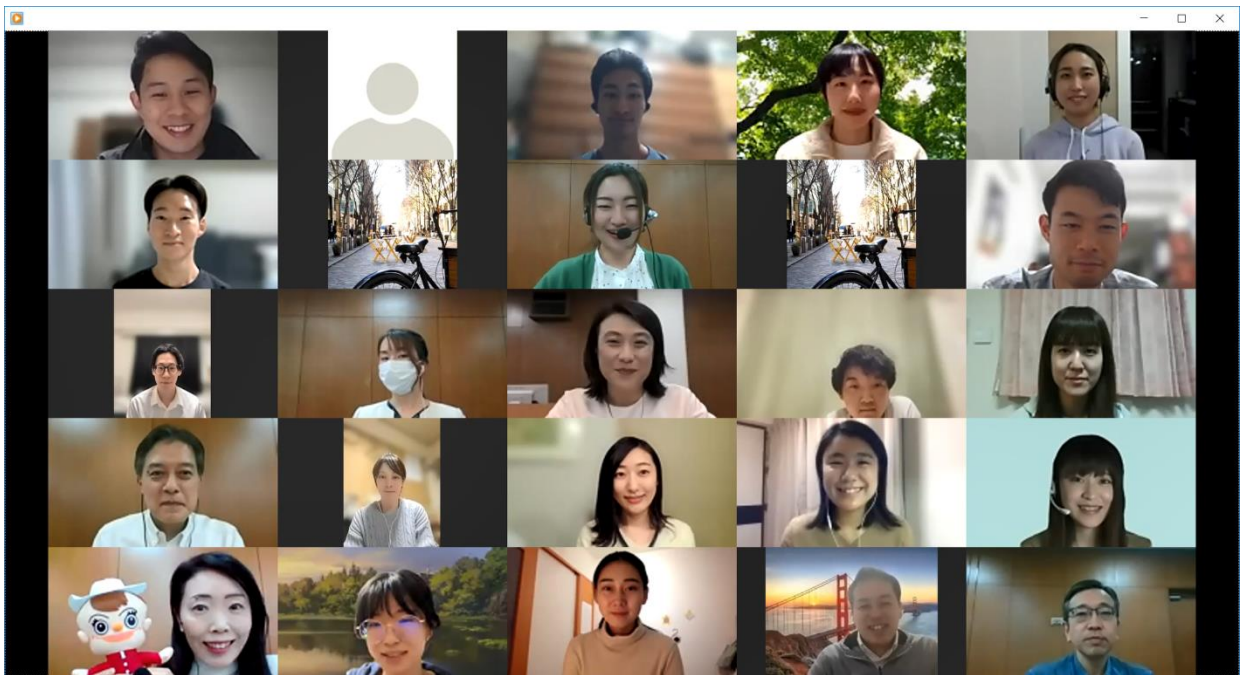
B班

B班が提案する解決案	
提案 1	媒体を新規開拓
提案 2	若者向けに対する補助制度 '例' 結婚、住宅などの補助金を前面にアピール
提案 3	若者と新宿区との話し合いの場を設けて、新宿区の活動として世界を視野にアピール 例 環境問題、子どもの教育・貧困問題

C班

C班が提案する解決案	
提案 1	新宿区へ引っ越しするなどの手続きの流れがわかるまとめサイト (note)
提案 2	固いツイートとゆるいツイートの使い分け (区 Twitter と区長 Twitter)
提案 3	ターゲットを絞った情報の提供 (外国人、障害者、子育て)

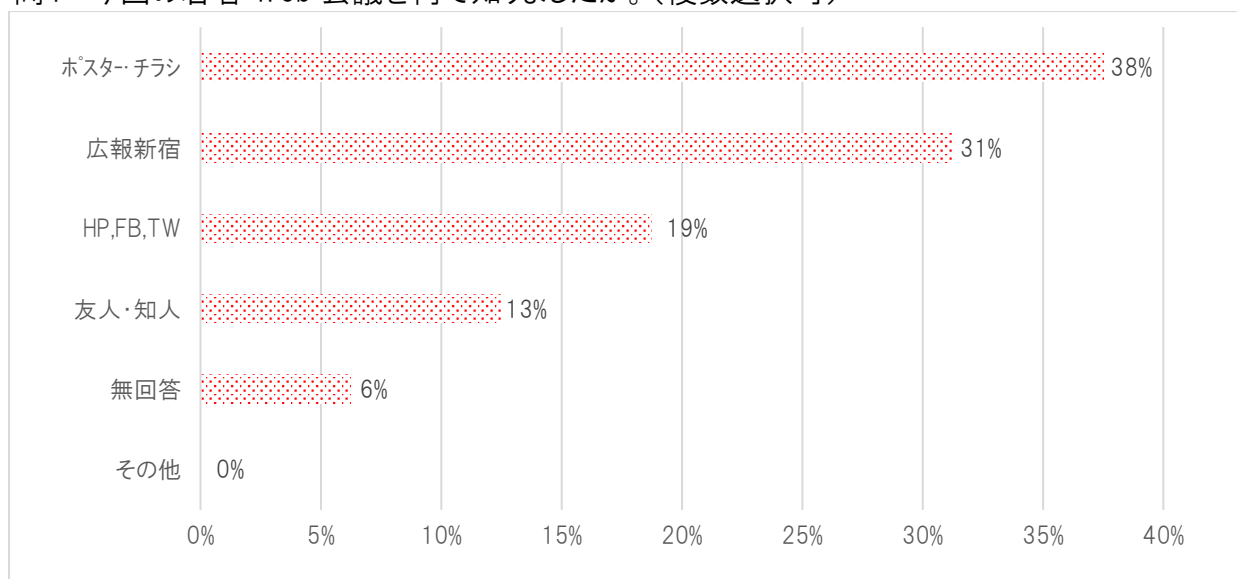
《発表後の記念撮影の様子》



VII 参加者アンケート結果

【若者 Web 会議を知ったきっかけ】

問1 今回の若者 Web 会議を何で知りましたか。(複数選択可)



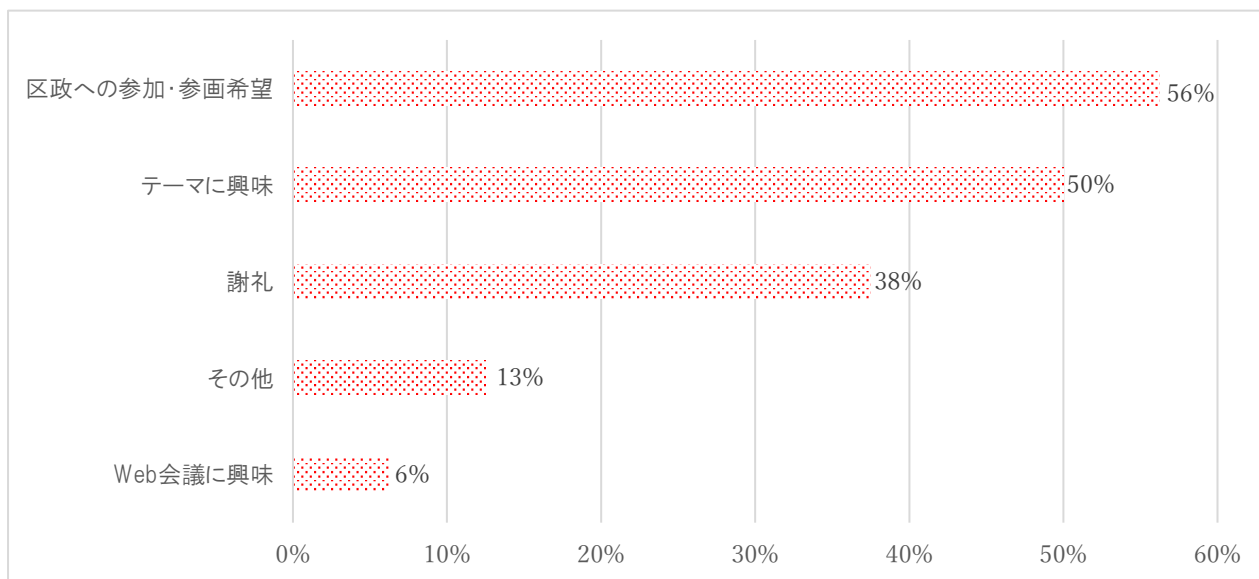
1	広報新宿	31%
2	新宿区のホームページ・Facebook・Twitter	19%
3	ポスター・チラシ	38%
4	友人・知人	13%
5	その他	0%
	無回答	6%

(ポスター・チラシを見た場所)

高田馬場3丁目の掲示板、都営住宅1階掲示板、図書館、津の守坂交差点の掲示板、地域の掲示板、戸山ハイツ掲示板

【参加した理由】

問2 若者 Web 会議に参加を決めた、主な理由は何ですか。(複数選択可)



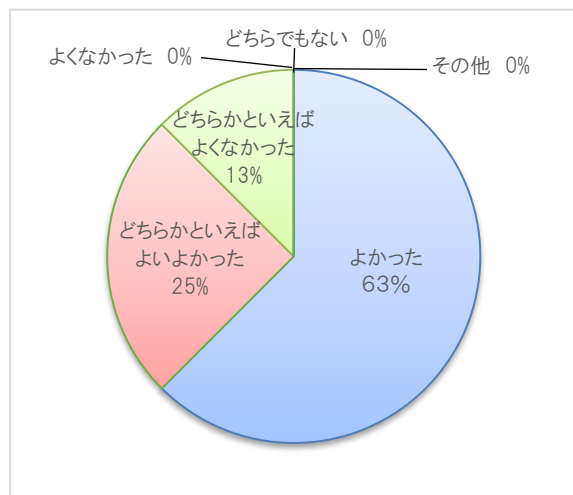
1	テーマに興味があったため	50%
2	Web 会議に興味があったため	6%
3	謝礼があったため	38%
4	区政に参加・参画してみたかったため	56%
5	その他	13%

(その他)

- ・せっかくの機会だと思ったため。
- ・区の職員と何らかのつながりを作りたいかったため。

【参加の感想】

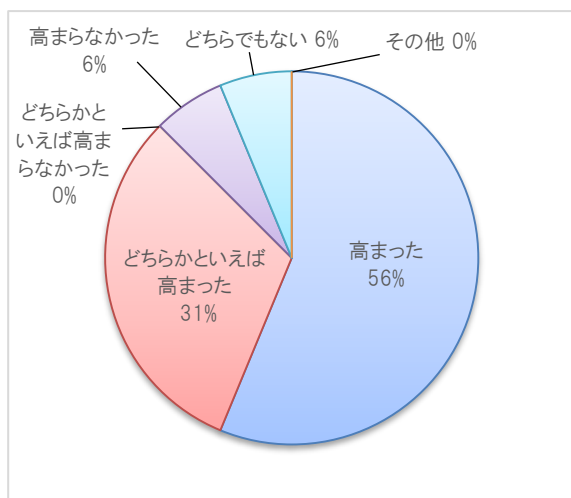
問3 若者 Web 会議に参加されて、ご自身の感想としていかがでしたか。(〇は1つ)



1	よかった	63%
2	どちらかといえばよかった	25%
3	どちらかといえばよくなかった	13%
4	よくなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

【区政への関心】

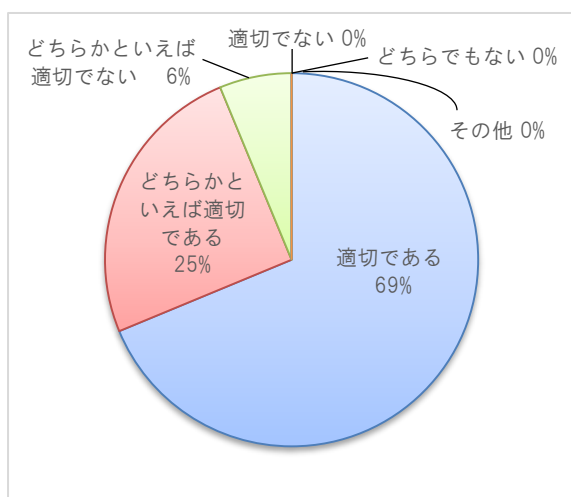
問4 若者 Web 会議に参加されて、新宿区政への関心は高まりましたか。(○は1つ)



1	高まった	56%
2	どちらかといえば高まった	31%
3	どちらかといえば高まらなかった	0%
4	高まらなかった	6%
5	どちらでもない	6%
6	その他	0%

【進め方や時間配分】

問5 本日の若者 Web 会議の進め方や時間配分は、適切でしたか。(○は1つ)



1	適切である	69%
2	どちらかといえば適切である	25%
3	どちらかといえば適切でない	6%
4	適切でない	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

問5-1 若者 Web 会議の進め方について

<会議運営について>

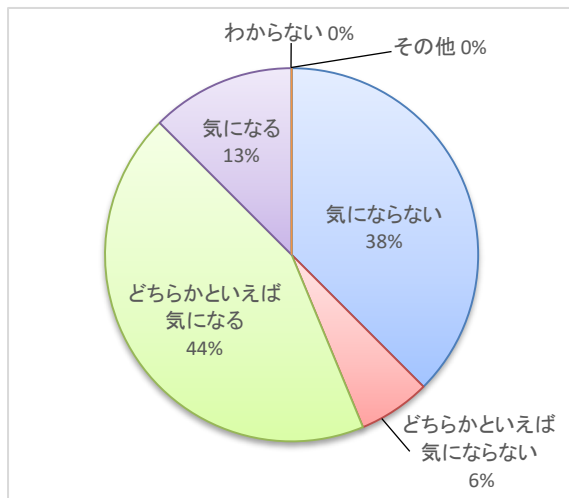
- ・班討議の時間も充分あり、皆様と有意義な意見交換の場とすることができた。各班発表時、発表者とその他の班員のコメント後それぞれに区長からコメントがあったが、各班ごとにまとめて一度の方がスムーズかなと思った。
- ・会議の進め方や時間配分は適切だった。強いて言えば各班の発表の後に別の班の方の意見などを聞く時間があれば良いと思った。
- ・説明や区長のコメントに長時間かかっていて、議論をするための時間が大変少なかった。
- ・日頃から伝えたかった意見を共有、談議できてとてもよかった。班討議の際に司会等の役を決めるというのも1人1人に責任をもたせる事で傍聴するのみになってしまう事もないのでとてもいいと思った。

<感想・その他>

- ・参加者の方のことをもう少し知れる機会があればよかった。
- ・ただオフラインをオンラインに切り替えただけの会で、チャット機能など Zoom の良さを生かしきれていなかった。
- ・また参加したい。自分より若い人達がしっかりと意見を言っていて新宿の未来は明るいと思った。

【傍聴者の有無についての意向】

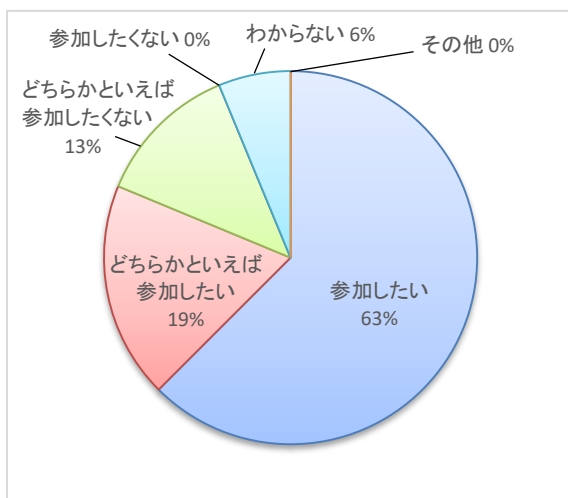
問6 今後、若者 Web 会議に傍聴者がいた場合、意見交換や発表の際に気になると思いますか。
(○は1つ)



1	気にならない	38%
2	どちらかといえば気にならない	6%
3	どちらかといえば気になる	44%
4	気になる	13%
5	わからない	0%
6	その他	0%

【来年度の参加意向】

問7 来年度以降も若者 Web 会議に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)



1	参加したい	63%
2	どちらかといえば参加したい	19%
3	どちらかといえば参加したくない	13%
4	参加したくない	0%
5	わからない	6%
6	その他	0%

問7-1 来年度以降の開催についての自由意見

<会議運営について>

- ・今回のテーマが広報だったが、事前にそのテーマであることがはっきりと分かっていなかったのもう少しテーマをアピールしても良いと思う。
- ・区長のコメントは1度で良いと思う。
- ・大変充実した内容で、多くを学ばせてもらった。運営もスムーズだった。
- ・コロナのこともどうなるかわからないが、もし可能なら対面できるの良いと思う。参加者同士がもつとつながれる場(機会)があると良いなと思った。
- ・議題だけでも常に区の職員の方に画面上で提示してもらえると助かる。

<テーマについて>

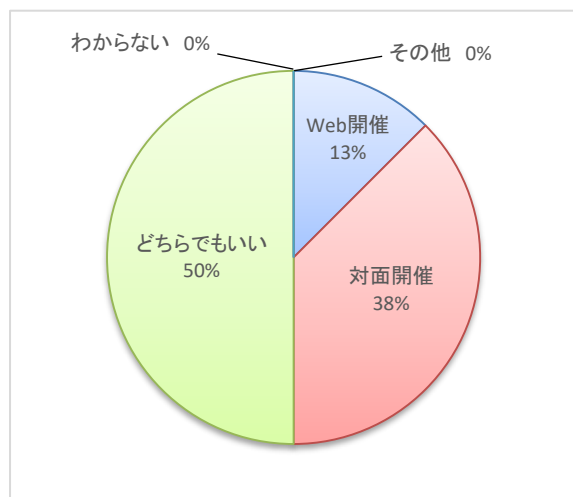
- ・環境問題に焦点をあてた若者会議も開催してほしい。

<その他>

- ・何のためにやる会なのか目的やねらいがどこにも明示されておらず(されていても方法論が多い)、参加者の意欲を高められていないと感じた。
- ・区職員の実務等、具体的な話も聞けたらと思った。

【開催方法の希望】

問8 今後、若者会議を開催するにあたり、Web開催と対面開催のどちらが好ましいですか。
(○は1つ)



1	Web開催	13%
2	対面開催	38%
3	どちらでもいい	50%
4	わからない	0%
5	その他	0%

令和3年度
しんじゅく若者 Web 会議実施結果報告書
令和4年2月発行

<編集・発行>
新宿区総合政策部区政情報課広聴係
新宿区歌舞伎町1-4-1
電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号
2021-26-2106